

第4章

目標達成に向けた施策

- | | | |
|---|----------------|---------|
| 1 | 路線の維持・充実（路線再編） | 【乗れる】 |
| 2 | 労働環境の改善 | 【働きやすい】 |
| 3 | 速達性の確保 | 【速い】 |
| 4 | 利用しやすい運賃設定 | 【お手軽】 |
| 5 | 待ち環境等利用環境の向上 | 【便利・快適】 |
| 6 | 交通不便地域の移動手段の確保 | 【安心】 |
| 7 | 実施プログラム | |

第4章 目標達成に向けた施策

計画の目標達成と本市が目指す公共交通ネットワークの構築に向けて、「乗れる」「働きやすい」「速い」「お手軽」「便利・快適」「安心」の6つのテーマを設定し、21の施策に取り組みます。



※ 自動運転等の新技術の活用について検討（全ての項目に関連）

図36 施策体系

1 路線の維持・充実（路線再編）

乗れる

《 路線バスについて 》

■ 重複区間におけるバス路線の集約

地域公共交通再編事業

複数の系統または複数の事業者で運行する重複区間では、幹線・支線への再編・ダイヤ調整や、定時性・速達性に優れた鉄道への接続等により、路線を集約することで、利用者の利便性を確保しつつ、需要に応じた便数の適正化を図ります（図37、図38）。

これにより、運行経費の削減とともに、効率化により生み出された余力（運転手や車両）を活用し、支線系統を新設・増便・延伸することで公共交通不便地域の移動手段確保を図ります。

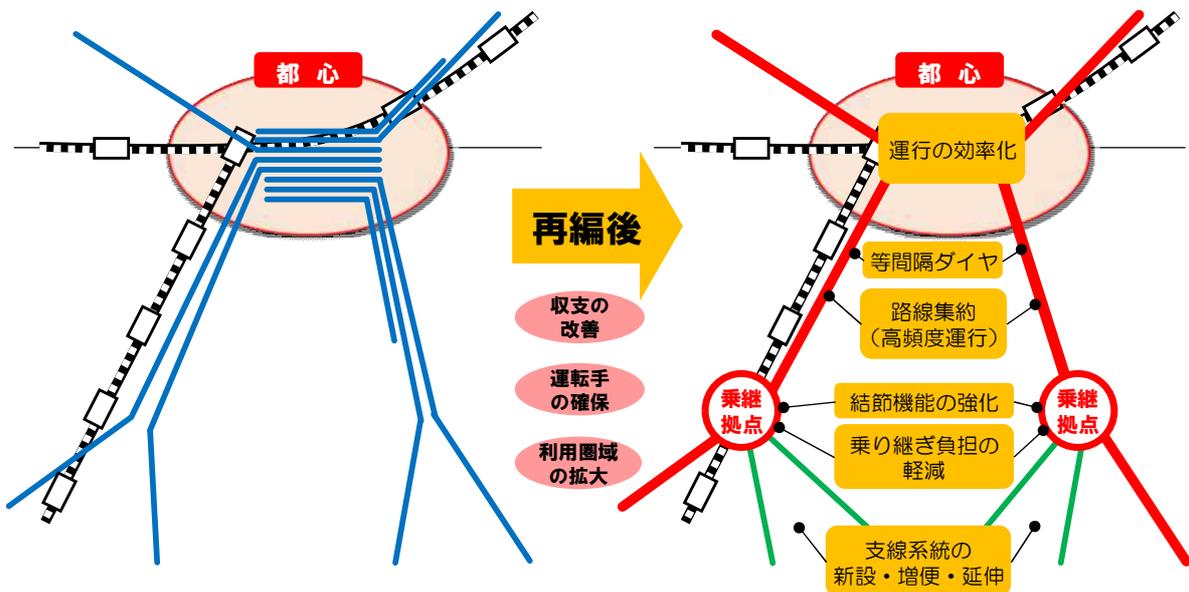


図37 路線集約のイメージ



図38 再編の対象路線（案）

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

参考資料

① 三野方面

《対象路線》

宇野バス	210 系統	表町 BC～林野駅	
	216・236 系統	表町 BC～ネオポリス西	
	219・229・239 系統	表町 BC～ネオポリス東	
	233 系統	表町 BC～循環山陽団地	
岡電バス	027・077 系統	岡山駅～三野	※077 系統：榊原病院経由
	017・067 系統	岡山駅～妙善寺	※067 系統：榊原病院経由
	037・087 系統	岡山駅～理科大東門	※087 系統：榊原病院経由



《現状と課題》

(データ) 各社から提供されたハレカカードデータ <2015. 10. 1~11. 30>
 ※利用者数は、岡山駅東口B Tにおけるカウント調査とハレカ実績の比率 (58%/全社) で割り戻し

1 岡電バス 027・077 系統は、大部分の区間で他の系統と重複しており、輸送容量に対して需要が小さい。

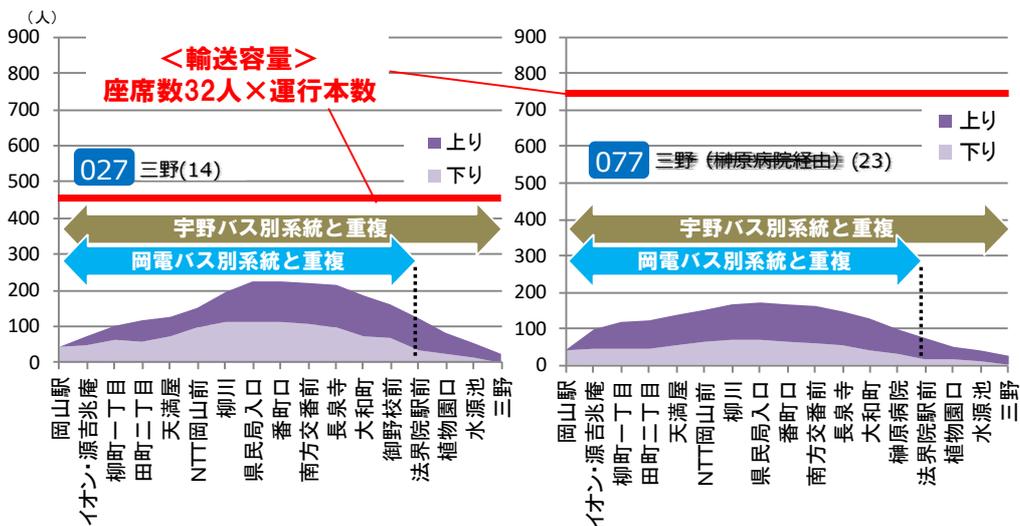


図 39 岡電 027・077 系統の区間利用者数 (平日)

2 岡電バス 027・077 系統の利用者が、他の岡電バス 4 系統に乗車した場合の車内混雑への影響は限定的である。

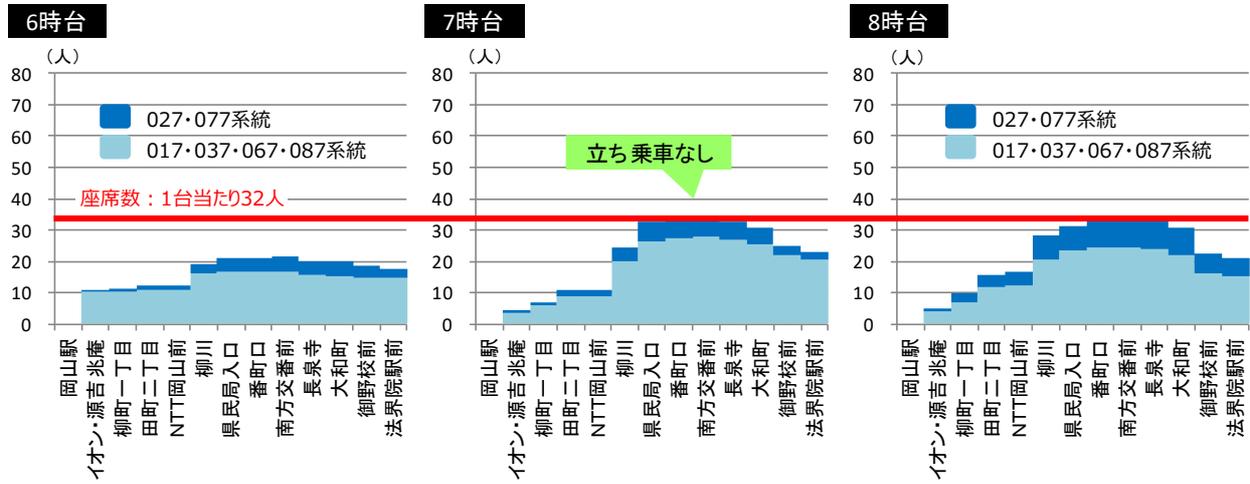


図40 岡電バス系統の1便あたり乗車人数 <上り方向(平日)>

3 宇野バス 210~239 系統は、朝のピーク時間帯においては、現時点で立ち乗車が発生している。

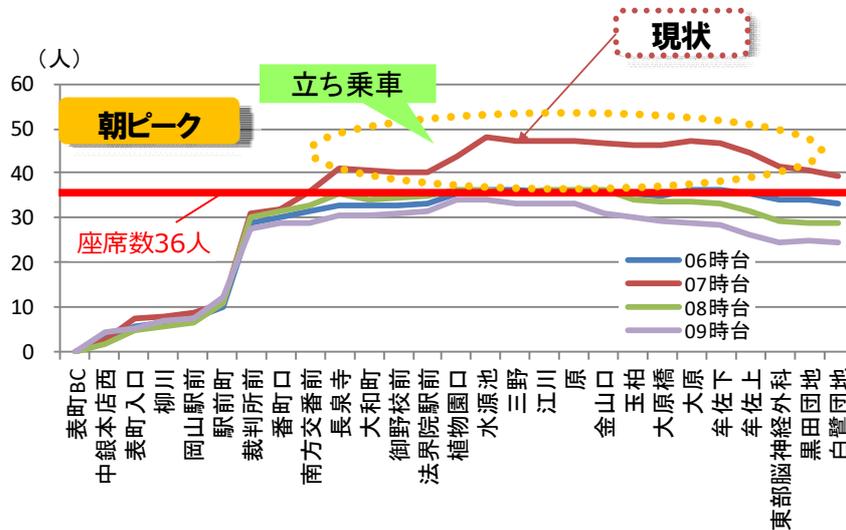


図41 宇野バス系統の1便あたり乗車人数 <上り方向(平日)>

② 高屋方面

《対象路線》

宇野バス	251 系統	岡山駅～長岡・東岡山駅前 ※一部、表町 BC 止
	252 系統	岡山駅～八日市
	253 系統	岡山駅～片上
	254 系統	岡山駅～瀬戸駅
岡電バス	012 系統	大学病院～岡電高屋 ※一部岡山駅止、岡南営業所行、健康づくり財団行
	02H 系統	岡山駅～大学病院



《現状と課題》

(データ) 各社から提供されたハレカカードデータ <2015. 10. 1~11. 30>

※利用者数は、岡山駅東口B Tにおけるカウント調査とハレカ実績の比率(58%/全社)で割り戻し

1 岡電バス 012 系統は、ほとんどの区間で宇野バスと重複しており、オフピーク時間帯は、輸送容量に対して需要が小さい。

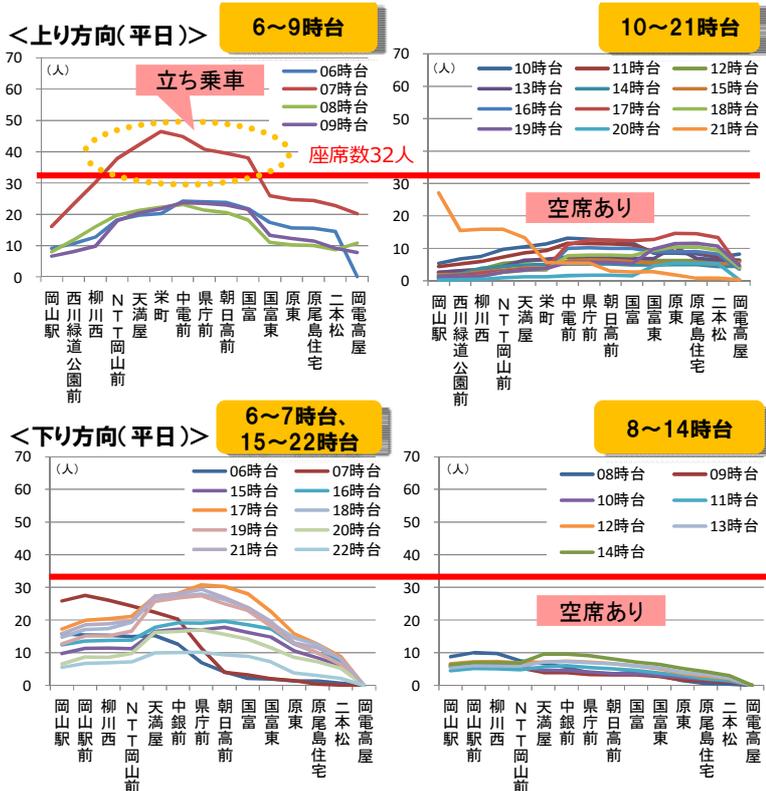


図 42 岡電 012 系統の 1 便あたり乗車人数

2 岡電バス 012 系統は、岡山駅を跨ぐ利用が限定的である。

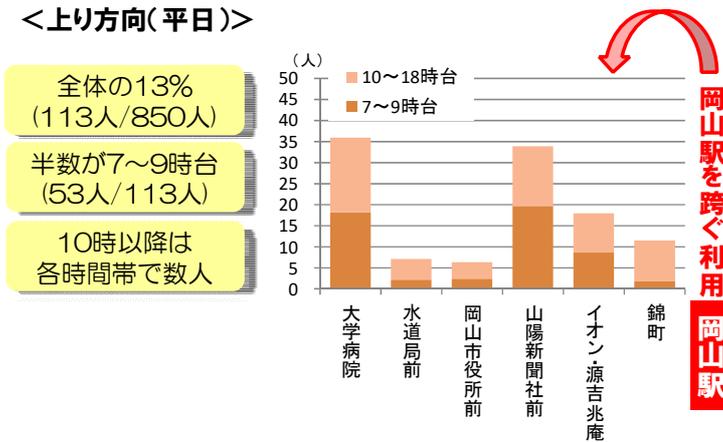


図43 岡電012系統のバス停別降車数 (岡山駅を跨いで降車する人数)

3 宇野バス4系統 (251~254系統) は、朝ピーク時間帯に東岡山駅(長岡)~表町間で立ち乗車が発生している。

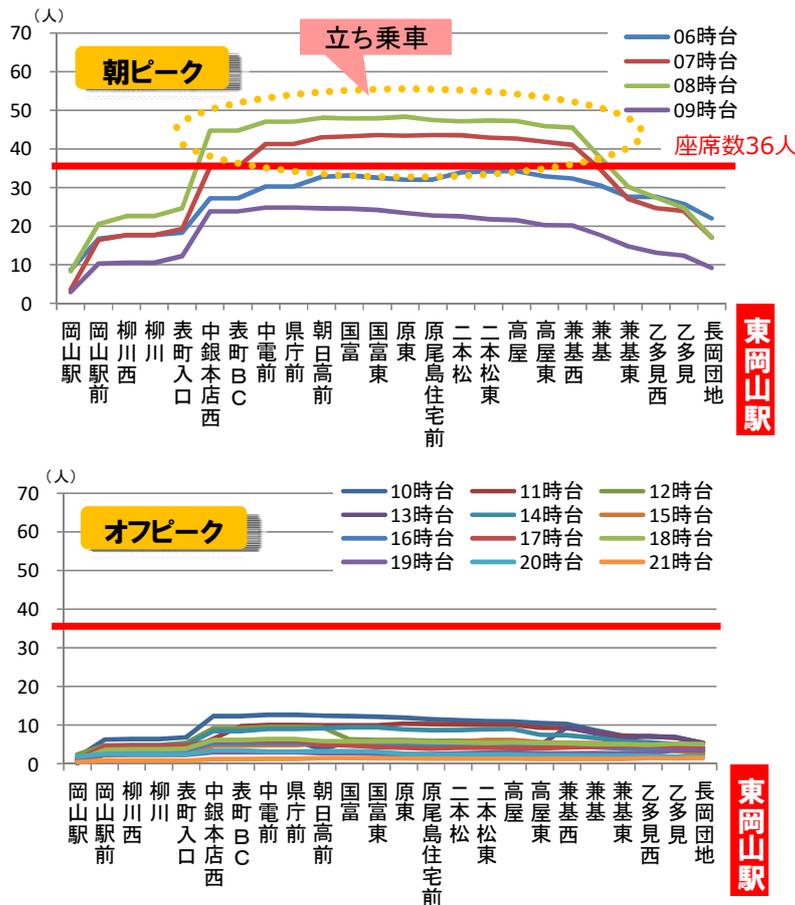


図44 宇野251~254系統の1便あたり乗車人数 (上り方向/平日)

③ 西大寺方面

《対象路線》

両備バス	314 系統	岡山駅～西大寺 BC ※一部、東区役所行
	315 系統	岡山駅～西大寺 BC (市役所経由)
	循環線	益野西～岡山駅前～益野西
八晃運輸	めぐりん益野線	新橋南～岡山駅前～新橋北



《現状と課題》

(データ) 各社から提供されたハレカードデータ <2015. 10. 1～11. 30>
 ※利用者数は、岡山駅東口B Tにおけるカウント調査とハレカ実績の比率 (58%/全社) で割り戻し

1

両備バス 314・315 系統は、全体の輸送容量に対して需要が小さい。

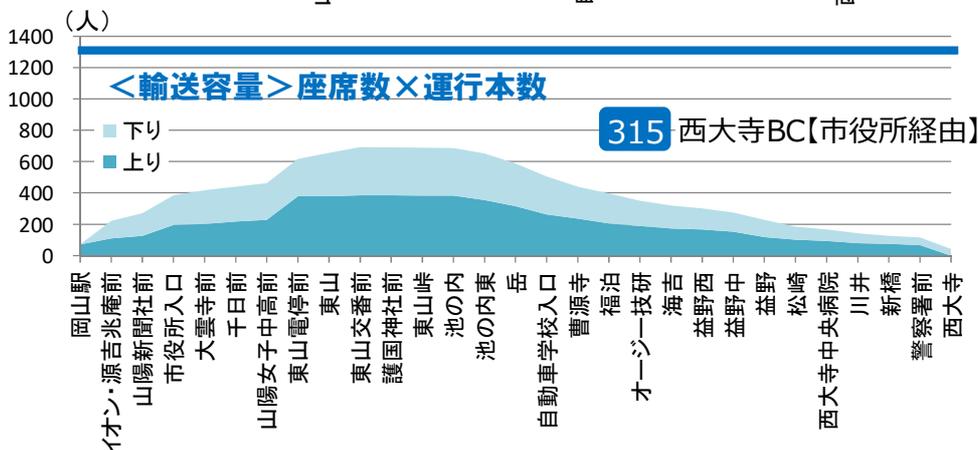
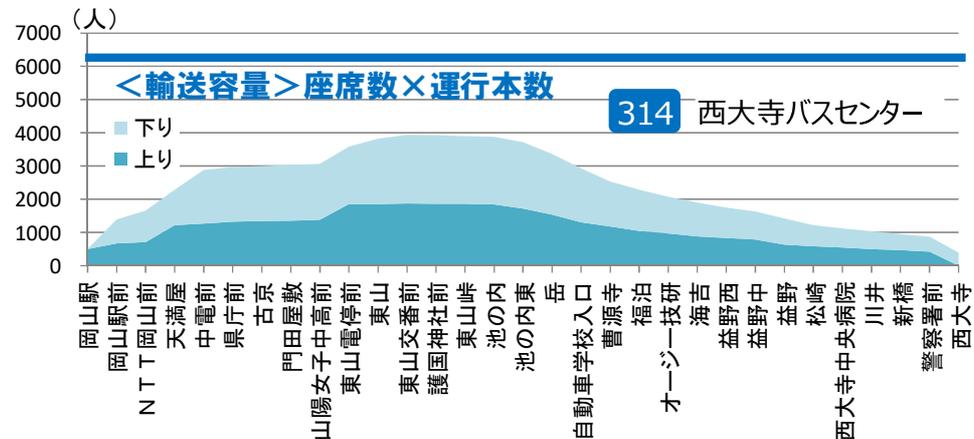


図 45 両備 314・315 系統の 1 便あたり乗車人数 (上り方向/平日)

2 両備バス 314・315 系統は、朝ピーク時間帯では東山～海吉間で立ち乗車が発生している。

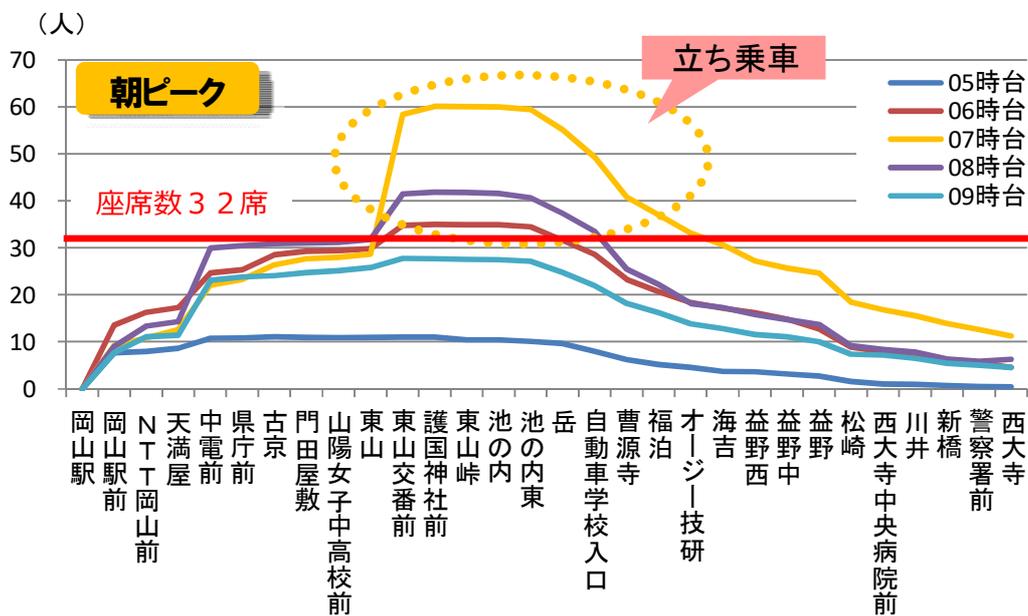


図46 両備314系統の1便あたり乗車人数 (上り方向/平日)

④ 岡南方面

《対象路線》



《現状と課題》

(データ) 各社から提供されたハレカカードデータ <2015. 10. 1～11. 30>
 ※利用者数は、岡山駅東口BTにおけるカウント調査とハレカ実績の比率 (58%/全社) で割り戻し

1 両備バスの 501・502 系統は、全体的に利用は少なく、また 505 系統や 021・022 系統との重複区間での乗降が多い。

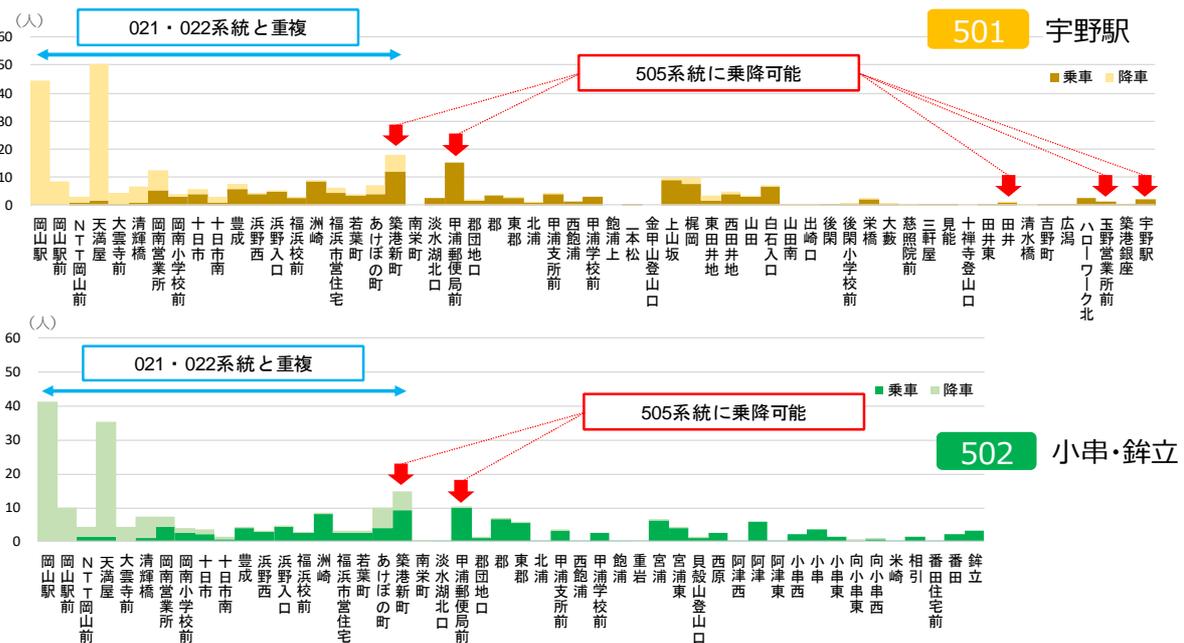


図 47 1日あたりのバス停別乗降者数 (上り方向/平日)

2 両備バスの505系統（特急）は、全ての時間帯で輸送容量に余裕がある。

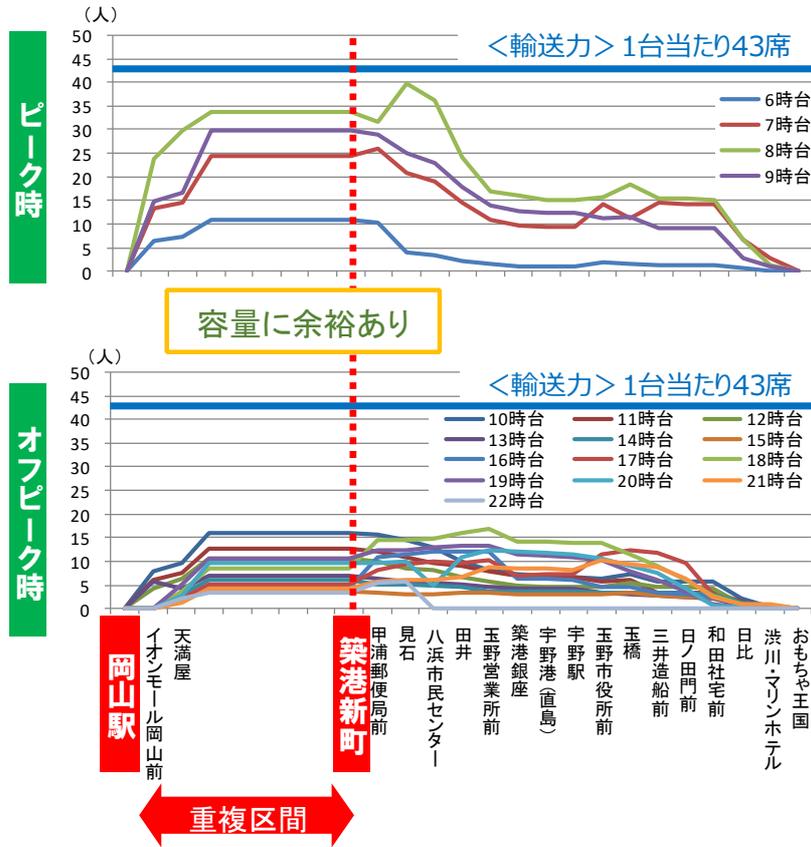


図48 505系統の1便あたり乗車人数（上り方向／平日）

3 「みやはら耳鼻科・福浜市営住宅前～あけぼの町」で乗降可能なバス停の配置が2社で異なる。また、大型商業施設最寄りの築港新町バス停の位置が2社で異なる。

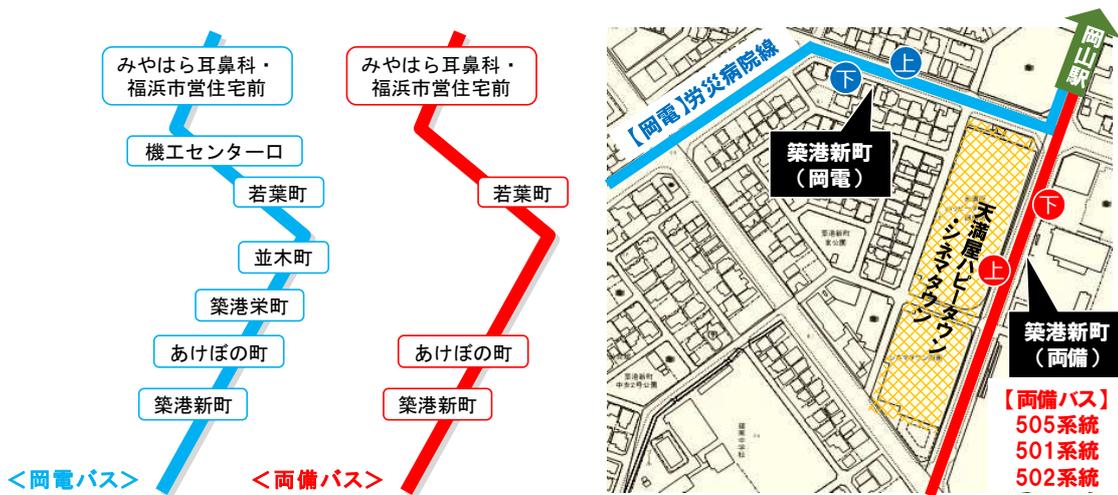


図49 バス停配置の2社間の違い

⑤ 芳泉方面

《対象路線》

両備バス	533 系統	岡山駅～ダイキ～玉野市役所
	534 系統	岡山駅～宇野駅・渋川
	535 系統	岡山駅～荘内・渋川
岡電バス	051 系統	岡山駅～天満屋～大東
	052 系統	岡山駅～市役所～大東



《現状と課題》

(データ) 各社から提供されたハレカカードデータ <2015. 10. 1～11. 30>
 ※利用者数は、岡山駅東口BTにおけるカウント調査とハレカ実績の比率 (58%/全社) で割り戻し

1 玉野市との地域間幹線系統である両備バス 3 系統 (533～535 系統) は、「大東～岡山駅間」で渋滞による遅れが生じている。

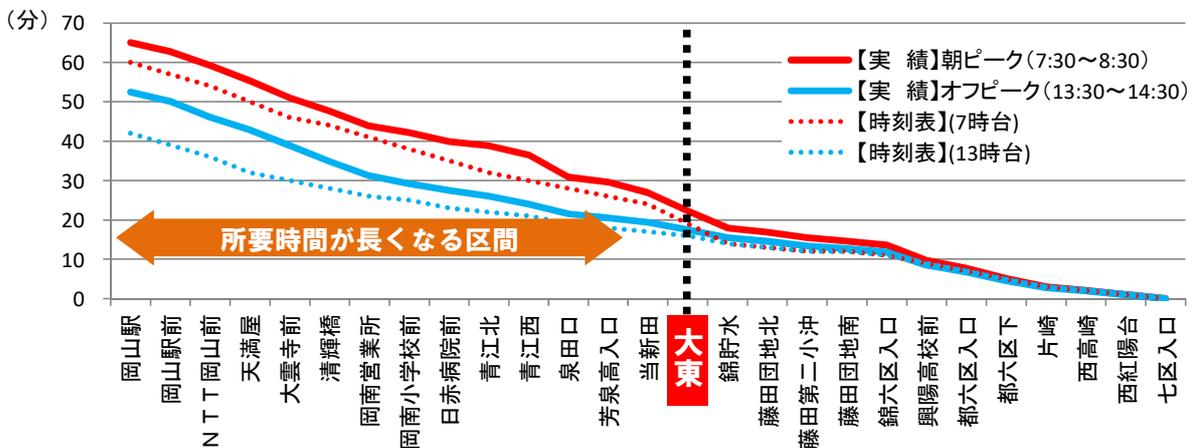


図 50 両備バス 533～535 系統の所要時間 <上り方向 (平日)>

2 「大東～岡山駅間」は、岡電バスの2系統が重なるため、全体の便数は増えるものの、運行間隔が長い時間帯がある。

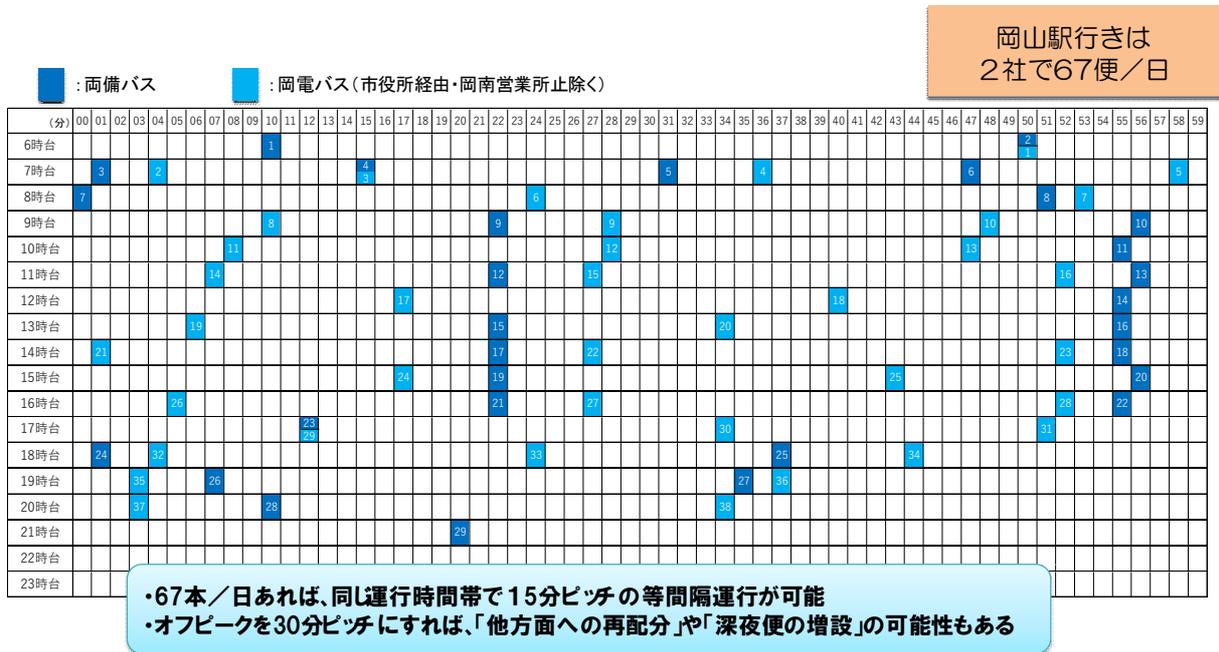


図 51 大東バス停の時刻表／上り方面（平日）

3 「大雲寺前～清輝橋」は、乗降可能なバス停の配置が2社で異なる。

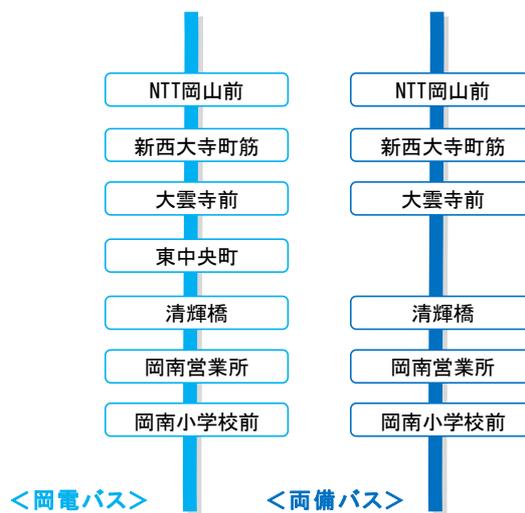


図 52 バス停配置の2社間の違い

⑥ 妹尾方面

《対象路線》



※ () 内は平日の往復運行本数

《現状と課題》

(データ) 各社から提供されたハレカカードデータ <2015. 10. 1～11. 30>

※利用者数は、岡山駅東口B Tにおけるカウント調査とハレカ実績の比率 (58%/全社) で割り戻し

1 下電バスと岡電バスの共同運行区間である「汗入～岡山駅・天満屋」は、ピーク時間帯で立ち乗車が発生しているが、オフピーク時間帯は輸送量に対して需要が小さい。

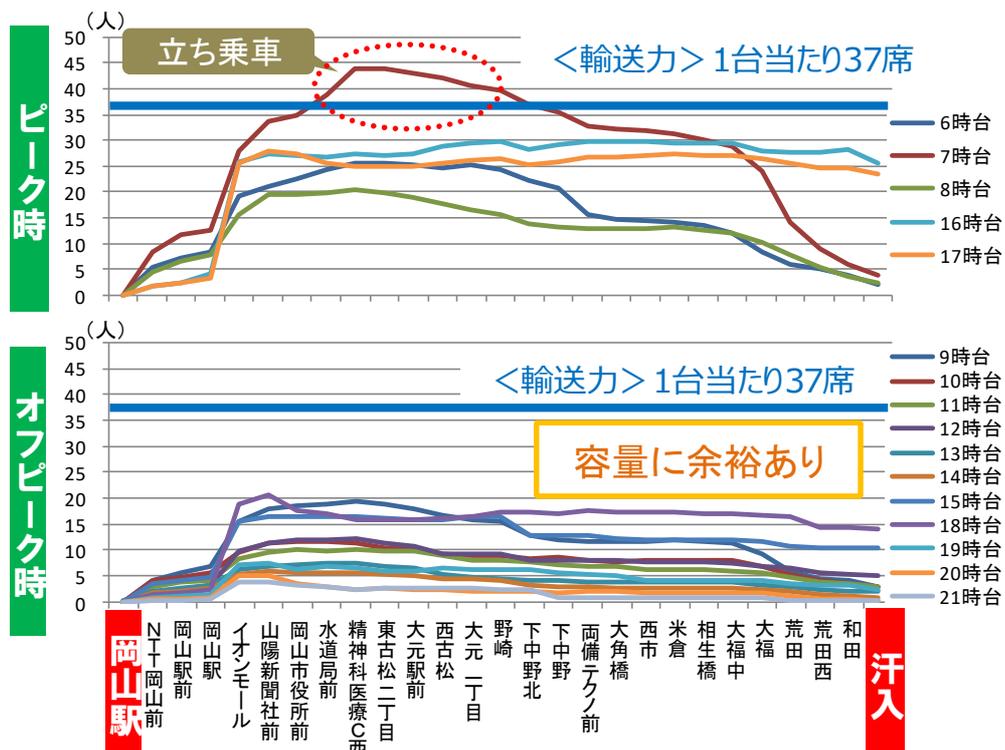


図 53 幹線区間の利用者数 (現状/6 系統合計)